

自第一號（平成二十二年六月）
至第四號（平成二十三年三月）

東洋史研究

第六十九卷 總目次

東洋史研究會

論 說

中國貴族制と「封建」……………	渡邊 義浩	一	(一)
宋元祐の吏額房——三省制の一検討——……………	熊本 崇	一	(二九)
宋代兩浙地域における市舶司行政……………	山崎 覺士	一	(六〇)
ヴェトナム國民黨と雲南——滇越鐵路と越境するナショナルリズム——……………	武内 房司	一	(九二)
八世紀前半のカーブルと中央アジア……………	稻葉 穰	一	(七四)
漢王朝の成立——爵を手がかりに——……………	松島 隆眞	二	(七五)
北魏崔浩國史事件——法制からの再検討——……………	松下 憲一	二	(二〇五)
十世紀敦煌の王權と轉輪聖王觀……………	赤木 崇敏	二	(三三)
一七七〇年代における清—カザフ關係——閉じゆく清朝の西北邊疆——……………	小沼 孝博	二	(三八)
三星堆祭祀坑銅神壇の圖像學的考察……………	曾布川 寛	三	(四九)
ジャワ發見のベトナム産タイルの圖柄について——イスラーム文化との交流をめぐって——……………	坂井 隆	三	(五三)
中國音樂史から消えた流行歌——もう一つの「夜來香ラプソディー」——……………	榎本 泰子	三	(四八)
古鏡研究一千年——中國考古學のパラダイム——……………	岡村 秀典	四	(五三)
前漢武帝の封禪——政治的意義と儀禮の考察——……………	目黒 杏子	四	(五四)
西魏宇文泰政權の官制構造について……………	前島 佳孝	四	(五七)
南宋の皇帝祭祀と臨安……………	高橋 弘臣	四	(六一)
一九二〇年代後半—四〇年代天津における義務教育の進展とその背景……………	戸部 健	四	(六四)

書評

曾田三郎著『立憲國家中國への始動——明治憲政と近代中國——』……………	横山宏章・松井直之	一	(二三)
川勝守著『明清貢納制と巨大都市連鎖——長江と大運河——』……………	森永 恭代	二	(三四)
菊池一隆著『中國初期協同組合史論 一九一—一九二八——合作社の起源と初期動態』……………	蒲 豊彦	二	(三七)
陶安あんど著『秦漢刑罰體系の研究』……………	李力著 土口史記譯	三	(三八)
錢大群著『唐律疏義新注』……………	周東平著 山口亮子譯	三	(三九)
濱本眞實著『聖なるロシア』のイスラーム——一七—一八世紀タタール人の正教改宗——』……………	磯貝 眞澄	三	(三九)
飯島涉・久保亨・村田雄二郎編『シリーズ 二〇世紀中國史』……………	石川 禎浩	三	(四七)
楠木賢道著『清初對モンゴル政策史の研究』……………	岡 洋樹	四	(六七)

近刊叢欄

一 (二三)	二 (二六)	三 (四三)	四 (六九)
--------	--------	--------	--------

大會抄録

スーフィズムとタオイズム——一九世紀中國西北部における對話……………	中西 龍也	三	(四六)
「誣姦」の意味するもの——明末清初の判牘を中心に——……………	五味 知子	三	(四六)
唐開元軍事儀禮の源流……………	丸橋 充拓	三	(四七)
戰國秦漢期における樹木觀の變遷……………	原 宗子	三	(四七)

洋銅から滇銅へ——清代辦銅制度の轉換點をめぐって——	上田 裕之	三	(四一八)
『スプキーのファトワー集』に見るワクフ問題	近藤 眞美	三	(四一九)
オスマン朝下アナトリア南東部におけるティモール制	齋藤久美子	三	(四一九)
一七世紀後半日朝武器密貿易とその清朝への波及	金 文京	三	(四二〇)
甲午改革期以後の朝鮮における権力構造について	糟谷 憲一	三	(四二〇)
『海國圖志』成立の背景	井上 裕正	三	(四二〇)